

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: R5年 2 月 10 日

事業所名: 子育てサポートどんぐり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・活動に応じて室内の環境設定を行っている	・スペースとしては決して広くはないので、活動によって公共の施設を利用したり、公園を利用したりしながら工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			・人数も大事だが、職員の専門性も高くなるように努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	・危ないと思われる場所は、リフォームして対応している。	・建物の構造上難しいところもあるが、工夫しながら対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・常に清掃、消毒を心がけています。	・引き続き努めていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・職員同士で話し合う場を設けています。	・引き続き努めていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・評価表を基に、話し合う場を設けています。	・引き続き努めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・ホームページにて公開しています。	・引き続き努めていきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価はしていませんが、法人内にて内部監査を実施し、業務改善へつなげています。	・第三者による外部評価を実施できるように努めます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・外部研修へ職員全員が参加できるように努めています。	・引き続き努めていきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・面談やアセスメントシートにて情報を集めています。	・面談やアセスメントシートにて適切に情報を集め計画を作成できるように努めていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・アセスメントシートを用いています。	・引き続き努めていきます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・職員間でも話し合う場を設けています。	・より具体的に支援内容を設定できるように努めます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・日々、計画の内容を確認しています。	・引き続き努めていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員間でも話し合い決定しています。	・引き続き努めていきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・季節ならではの遊び子ども達の遊びの状況を踏まえ遊びの展開をしています。	・引き続き努めていきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの状況に応じて個別対応をしています。	・子どもの状況に応じながら対応していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日必ず打ち合わせをしています。	・引き続き努めていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・毎日必ず振り返りを行っています。	・引き続き努めていきます。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・毎日記録し話し合う場を設けています。	・引き続き努めていきます。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・最低でも6か月ごとにモニタリングしています。	・随時、対応しながら努めます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・参加している。	・どの職員が参加してもよいように、子どもの状況に精通した者を増やします。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・連携をとっています。	・今後も努めていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				・現在、対象となる子どもはいませんが、支援する場合は連携を図っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				・現在、対象となる子どもはいませんが、支援する場合は連携を図っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	・連携会議をさせて頂いています。	・連携会議ができず、電話のみ、もしくは話し合う場も設けられない場合もあるので出来る限り、会議を実施できるように努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・移行支援シートを用いています。	・引き続き努めていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育に参加しています。	・研修の場や、公開療育の場にて連携をとっていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	・そういう場を設定していないが、地域の公園にて地域の子と触れ合場を大事にしています。	・交流できる場を大事にしています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・町内会に入り、地域との接点を大事にしています。	・積極的に参加するように努めます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・日々の活動写真を連絡帳に載せています。	・今後も努めていきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	・その都度、相談等に対応しています。	・ペアレント・トレーニングの前段階の言われるペアレント・プログラムの資格を取得できた職員がいるので、家族支援へ活かしていきたい。また、ペア・プロの資格を持つ職員を増やしていきたい。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・行っています。	・引き続き努めていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・同意を得ています。	・引き続き努めていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・その都度、相談等に対応しています。	・引き続き努めていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	・行事にて保護者同士の交流できる場を大事にしています。	・コロナにより行事が出来ない状況もあった。工夫をしながら、保護者交流ができる場を設定していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・迅速に対応しています。	・今後も努めていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・毎月お便りを発行しています。	・今後も努めていきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報の承諾書を頂いています。	・今後も努めていきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・視覚的にも伝わるように写真付の連絡帳を用いてコミュニケーションのツールともなっています。	・コミュニケーションをとりやすくなるためにはを検討していきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・町内会に入り、地域との接点を大事にしています。	・事業所周辺の散歩等で、地域住民の方とあいさつをかわしたり、話したりとふれあう機会として捉え大事にしています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・定期的に研修、訓練をしています。	・今後も努めていきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・定期的に研修、訓練をしています。	・今後も努めていきます。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・アセスメントシートを用い、状況を確認しています。	・今後も努めていきます。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				・現在、対象となる子どもはいませんが、対応する場合は医師の指示書に基づく対応をします。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・会議や回覧にて共有しています。	・今後も努めていきます。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・定期的に研修をしています。	・今後も研修を実施したり、研修会に参加しながら虐待防止に対しての意識を高めていきます。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・委員会を設置し、研修を実施しています。	・対象児は現状いませんが、声掛けで動きを止めることも身体拘束にあたるという視点をもちながら、身体拘束に関する研修を実施し、検討をしながら、職員一人ひとりの意識を高めていきます。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)